

## 長引く咳に対する診断的治療

京都大学大学院医学研究科内科学講座・呼吸器内科学 新実 彰男



外来で遭遇する最も頻度の高い症状の1つである長引く咳（本篇では、遷延性咳嗽と慢性咳嗽をあわせて長引く咳とする）は、その原因が多岐にわたる上、重篤な疾患を原因とすることもあるため、的確な診断が求められる。専門的検査を行いにくいプライマリケアにおいては、可能性のある疾患を念頭に置きながら、主に病歴に基づいて疾患を推定して治療を行い、改善の有無によって診断を確定する診断的治療がより実践的である。

長引く咳を正確に診断・治療するためには、各疾患の特徴を正確に把握した上での病歴の聴取と、それに基づく適切な診断的治療が必須となる。

本篇では、長引く咳に対する正しいアプローチについて、診断的治療のフローチャートに従いながら解説する。

(2009年9月制作)

